

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO KIDS巨理教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 20日	～	令和8 年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所建物、園庭がとても広く開放的で伸び伸びと過ごす事ができる。	・広さを活かして体を思い切り動かして楽しめるカリキュラムを日々取り入れています。	・広さを活かしたカリキュラム活動の他、親子行事を行うなどより充実した支援を提供していきます。又、部屋数が多いため、個々に合わせた個別の対応や集団での対応をより充実させていきます。広すぎる故の分かりにくさが無いよう構造化を行い、児童がより安心して楽しく通う事ができるよう支援します。
2	・保護者様と日々のフィードバックや面談などで児童の成長や課題点、対応などについて細やかにやり取りができていて感じています。また、相談や児童の行動観察などその都度体制を整え対応ができています。	・送迎・降園時のフィードバック・定期的な面談の中で、ご家庭の最近のご様子や事業所での姿を共有しております。できるようになったことだけでなく、障がい特性による背景や、課題点、その際の関わり等についてもお伝えし共通理解を図ってまいりました。また、事業所2階のスペースから保護者様や地域の保健師、相談支援専門員の方々に普段の児童のご様子を見ていただける機会をお声がけさせていただいており、情報の共有や安心して通所していただける取り組みを行っております。	・今後も児童の成長や課題点について共通理解を図りながらご家族の皆さまの一番のサポーターとして、保護者の皆さまと一緒に考えながらよりニーズに合った支援を行ってまいります。また、今後も就学前に限らず、児童の普段の様子を見ていただく機会を設け、成長や課題点、家庭での困り感などについてより細やかに共有し、安心して楽しく子育てができるようできる限りサポートを行ってまいります。保健師、相談支援専門員等児童に関わるすべての方々との連携を図り、ご本人にとってより楽しく安心してご利用いただける支援を心がけていきます。
3	・保護者交流会や親子行事の開催、研修会参加の機会を設けています。保護者様同士が情報交換をしたり同じ悩みを相談したり共有できる機会を設けています。	・保護者勉強会、交流会を年に3回開催し、子どもたちが日々取り組んでいる支援を紹介したり、サポートブックの作成を行ったりと、子育てに役立つ様々な企画を準備しています。親子行事の開催は季節ごとに行っており、保護者様同士の交流の機会を大切にしています。	今後も保護者様同士が情報を共有したり、研修に参加できるよう企画を行ってまいります。ご家族皆さんで参加できる行事の開催、卒園児童の保護者様に就学などのステップアップについてお話をいただく機会など、保護者様のニーズに合わせた企画を行いながら保護者支援に繋がっていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方々との交流が少ないと感じています。	・児童によっては普段と違った環境に対し不安が強くなるなどが予測され、事業所へ招待したり、地域の行事への参加が難しいのが現状となっています。	・無理のない範囲で地域のイベントへ参加したり、地域の図書館利用、お買い物学習などを通して当事業所の活動を地域の方々には知っていただく機会を増やしていきたいと思えます。又、同敷地内の児童館との交流や法人内事業所との交流は引き続き長期休みや土曜日に企画し、交流の機会をさらに増やしていけるよう検討していきます。
2	・事業所内、園庭ともに広く開放的ではあるが、死角もあり安全面で不安を感じることがあります。	・物を入れている場所や危険と感じる場所に近づけないよう工夫をしたり職員間で危険の無いように配置を工夫していますが、最善と思って工夫しても児童の衝動的な行動に確実に対応できていない時もあり、まだまだ不安要素があります。玄関にスロープがなくバギーを使用している児童の入室に不便さを感じています。	・危険箇所へネットを貼り、安全面での配慮について定期的に見直しや修正を行い、確実な安全を確保できるようにしていきます。
3	・玄関にスロープがなく、車いすでの入室に困難さがあります。	・玄関にスロープがないため車いすは持ち上げる必要がある等、合理的配慮が不足していると感じています。	・玄関にスロープを設置しどなたでも入室しやすい環境を整え、バリアフリー化することで安全と移動の確保ができるよう改善してまいります。